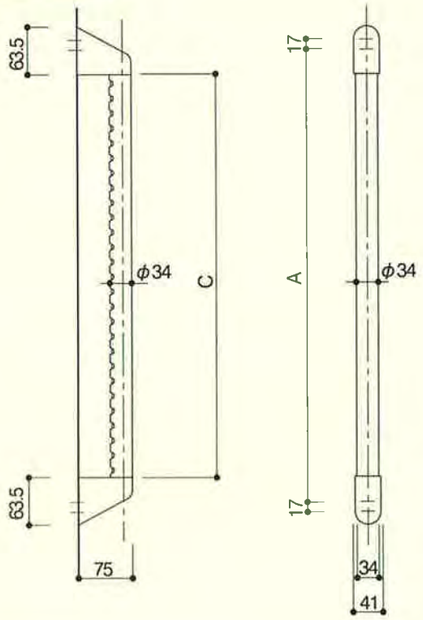
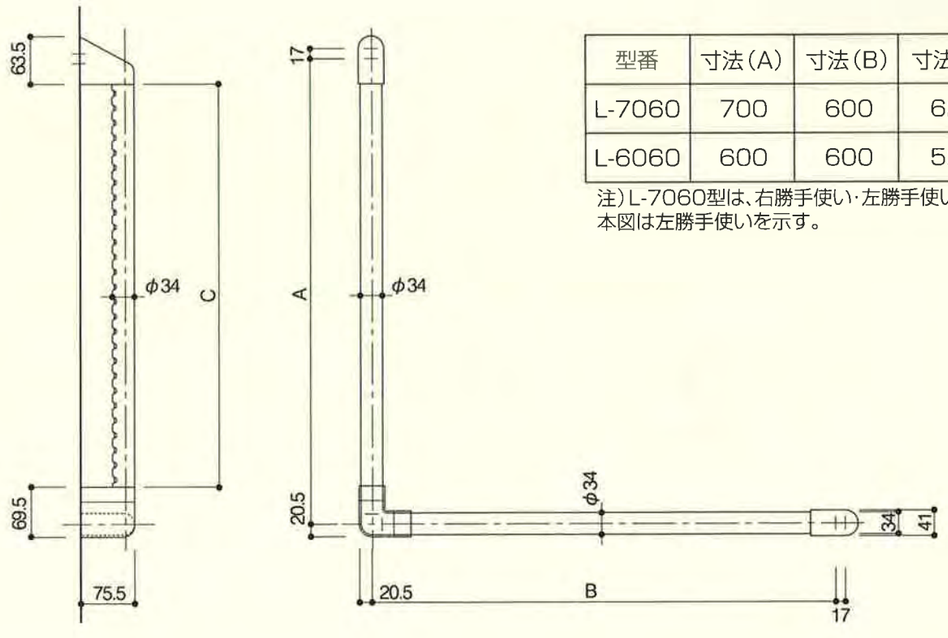
製品仕様

I型



型番	寸法(A)	寸法(C)
I-400	400	341
I-600	600	541
I-800	800	741

L型



型番	寸法(A)	寸法(B)	寸法(C)
L-7060	700	600	623
L-6060	600	600	523

注)L-7060型は、右勝手使い・左勝手使いあり、本図は左勝手使いを示す。

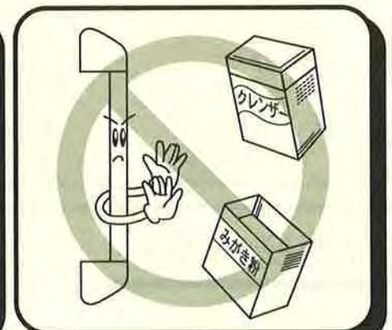
抗菌剤入り補助手すり
ソフトハンド 取扱説明書

P-34V
(M)

本取扱説明書は施工後お客様にお渡しください。

お手入れ

ふだんはやわらかい布でふいてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をしみこませた布でふき、その後水ぶきしてください。



クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤、ナイロンタワシなどの傷を付けやすいものは使用しないでください。

酸性、アルカリ性洗剤はつやを失ったり変色するので使用しないでください。タイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイルおよびソフトハンドを充分に水洗いしてください。

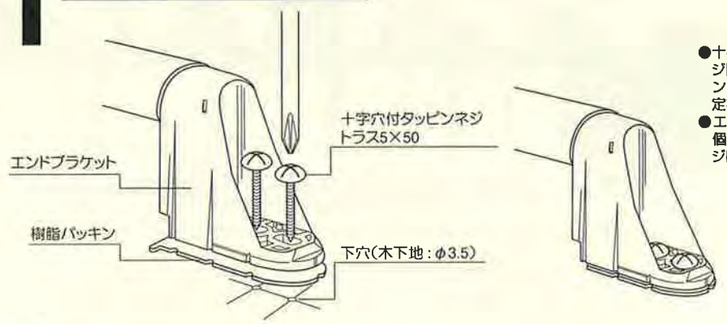
使用上の注意

◎P-34M(木目タイプ)は浴室に使用しないでください。
◎ソフトハンドの上に乗ったりぶらさがったりしないでください。製品および取付け部分の壁が壊れるおそれがあります。
◎ソフトハンドに強い衝撃を与えないでください。使用中に壊れて思わぬけがの原因になります。
◎ソフトハンドに火を近づけないでください。表面が変形、変色します。

取付手順

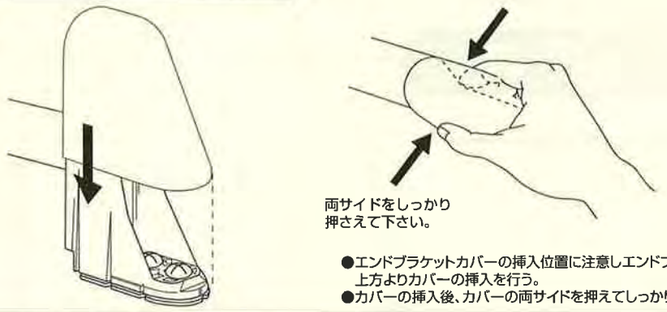
エンドブラケット

1 ブラケットの取付



●十字穴付タッピンネジトラス5×50でエンドブラケットの固定を行う。
●エンドブラケット1個に対しタッピンネジは2本使用。

2 カバーの取付



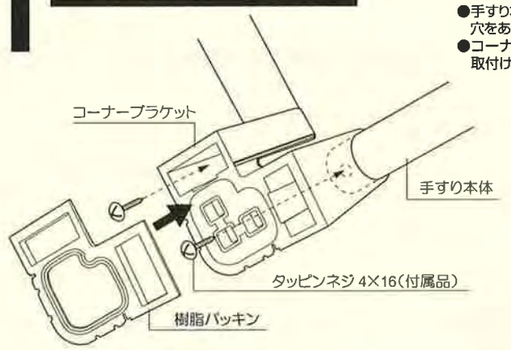
●エンドブラケットカバーの挿入位置に注意しエンドブラケットの上方よりカバーの挿入を行う。
●カバーの挿入後、カバーの両サイドを押えてしっかり嵌合する。

⚠ 注意

●タッピンネジは最後までしっかりネジ込みガタ付のない様にして下さい。
●エンドブラケットカバーの取付は手すりにガタ付が無い事を確認してからおこなって下さい。

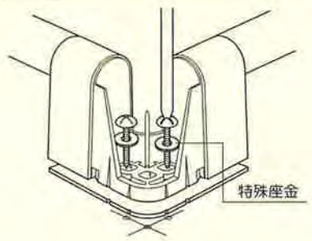
コーナーブラケット

1 笠木のジョイント



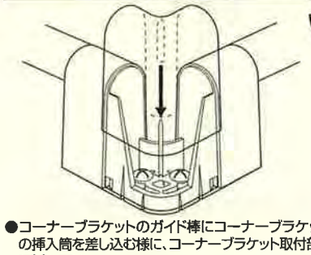
●手すり本体のネジ穴と差し込みコーナーブラケットの裏側の穴をあわせタッピンネジ(付属品)をネジ込み固定します。
●コーナーブラケット裏面に樹脂パッキン(コーナー用)を取付けます。

2 ブラケットの取付



●十字穴付タッピンネジトラス5×50及び特殊座金でコーナーブラケットの固定を行う(2ケ所止め)
●タッピンネジをガタ付のない様締め付けて下さい。

カバーの取付 3



●コーナーブラケットのガイド棒にコーナーブラケットカバーの挿入筒を差し込む様に、コーナーブラケット取付部にカバーを挿入する。
●コーナーブラケットカバーの取付は手すりにガタ付が無いか確認してからおこなって下さい。

⚠ 注意

●コーナーブラケットと本体の接続には、特殊なタッピンネジを使用しますので、必ず付属品のタッピンネジを使用して下さい。
●エンドブラケット及びコーナーブラケットの平面(壁取付面)の水平度を確認してから組立てて下さい。
●接着剤は絶対に使わないで下さい。
●タッピンネジは根元までしっかり締め込んで下さい。特殊座金を必ず取付て下さい。

手すりの取り外し

手すりの取り外しがどうしても必要な場合は下記要項にて、取り外すことが出来ます。

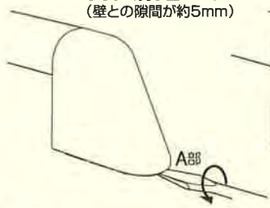
⚠ 注意

必要な時以外は、手すりを外さないでください。壁取付部の強度低下の原因になります。

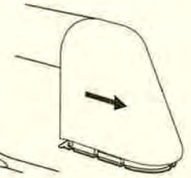
エンドブラケット

1 カバーの取り外し

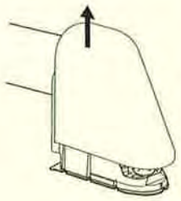
●エンドブラケットカバーA部の壁との隙間に⊖ドライバー等(薄い物)を挿入しカバーを上方に持ち上げます。引掛かりがあり、持ち上がらなくなるまで持ち上げて下さい。
(壁との隙間が約5mm)



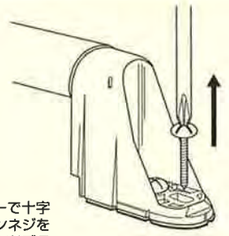
●下図の通りエンドブラケットカバーを横にスライドして下さい。
(動きが止まるまで)



●上方にまっすぐエンドブラケットカバーを引抜いて下さい。



2 ブラケットの取り外し



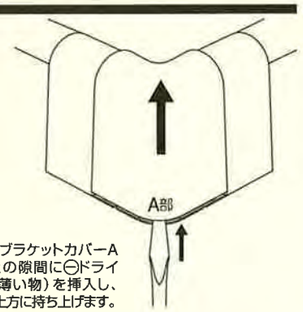
●⊕ドライバーで十字穴付タッピンネジをはずし、エンドブラケットをはずします。

⚠ 注意

●カッターナイフ、包丁等は危険ですので絶対に使用しないで下さい。
●取りはずしたネジや部品は無くさない様注意して下さい。

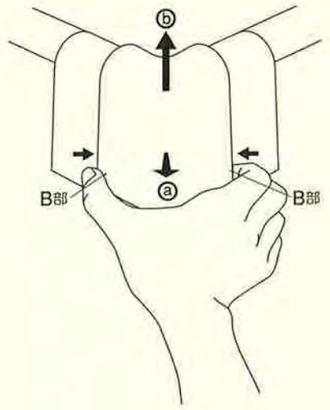
コーナーブラケット

1 カバーの取り外し

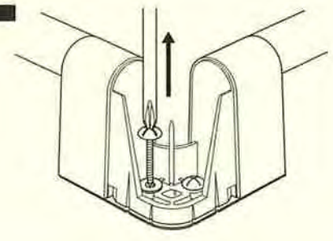


①コーナーブラケットカバーA部の壁との隙間に⊖ドライバー等(薄い物)を挿入し、カバーを上方に持ち上げます。

②下図の様に、コーナーブラケットカバーの下端部(B部)を指で持ちⓐ方向に引きながら上方(ⓑ方向)にコーナーブラケットカバーを持ち上げて、コーナーブラケットからカバーを取りはずします。



2 ブラケットの取り外し



●⊕ドライバーで十字穴付タッピンネジをはずし、コーナーブラケットをはずします。

⚠ 注意

●カッターナイフ、包丁等は危険ですので絶対に使用しないで下さい。
●取りはずしたネジや部品は無くさない様注意して下さい。